

ENEOSの燃料電池を集中設置する福岡県「水素タウン」の整備について ～燃料電池を150台程度設置する世界最大のモデル都市へ～

当社(社長:西尾 進路)は、福岡県および西部ガスエネルギー株式会社(社長:遠藤 恭介、本社:福岡県糟屋郡)と共同で、福岡県前原(まえばる)市の南風台団地・美咲が丘団地を対象に、家庭用燃料電池を集中的に設置する世界最大の「水素タウン」の整備に着手しますのでお知らせいたします。

これは、福岡県が「福岡水素エネルギー戦略会議」*1と一体となり、世界に先駆けて「環境にやさしい水素エネルギー社会」の実現を目指して産学官連携の下、平成20(2008)年度から実証活動などを展開する「福岡水素戦略(Hy-Lifeプロジェクト)」の第1弾として、実施されるものです。

「水素タウン」となる南風台団地と美咲が丘団地は、西部ガスエネルギーがLPガスを集中供給する簡易ガス団地*2です。当社は、この地域の150世帯程度のご家庭にLPガス仕様1kW級家庭用燃料電池システム「ENEOS ECO LP-1」を設置する計画であり、この様な大規模な集中設置は世界初の取り組みとなります。

当社は、2005年度から(財)新エネルギー財団の「定置用燃料電池大規模実証事業」において、1kW級家庭用燃料電池システムを参加事業者中最大となる831台(全設置予定台数の約4割)設置しており、今後も将来の燃料電池の普及に向けてさまざまな施策に取り組んでまいります。

記

1.「水素タウン」の概要

(1)場所:福岡県前原市

- ①南風台(みなかぜだい)団地(世帯数:1,077世帯)
- ②美咲が丘(みさきがおか)団地(世帯数:725世帯)

(2)燃料電池の設置台数:150台程度

(3)燃料電池の設置時期:2008年度中

(4)LPガス供給者:西部ガスエネルギー株式会社

2.燃料電池システムの概要

(1)出力:750W

(2)総合効率:80%(発電効率:36%、熱回収効率:44%、LHV*3)

(3)燃料:LPガス

(4)貯湯槽容量:200リットル

*1:福岡水素エネルギー戦略会議

水素エネルギーの推進に取り組む全国初の産学官連携組織(2004年8月発足、会員数:426企業・機関(2008年2月1日現在))で、水素の精製、貯蔵から利用まで一貫した研究開発、実証活動、人材育成活動を実施しており、当社は幹事会社として参加しております。

*2:簡易ガス団地

70世帯以上の集合住宅地等にLPガス大型ボンベなどを設置し、導管により各世帯にLPガスを供給するもの。簡易ガス事業は、ガス事業法の認可が必要で供給義務が課されている公益事業。

*3:LHV基準

Lower Heating Value の略。低位発熱量。燃料の持つ発熱量から、燃焼によって生じる水蒸気の凝縮潜熱を差し引いた発熱量のこと。

以上



ENEOS ECO LP-1



前原市の住宅地

● 別添資料

 [前原市位置図、市内図\(46.5KB\)](#)